

# **TAD**

**TAD-M1000**  
POWER AMPLIFIER

OWNER'S MANUAL

# 安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

- あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに及ぼす危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。




## 警告

「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

## 注意

「人が軽傷を負うまたは可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵文字で区分し、説明しています。

 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	 必ず行っていただく内容です。
 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

## 警告



### 異常が発生したときは、すぐに使用をやめる

- 音が出ない、煙が出ている、変なおいがする、変な音がするときは、電源プラグを抜く
- 本機を落としたり、内部に水や異物が入ったりしたときは、電源プラグを抜く  
そのままお使いになると、火災・感電の原因となります。電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



### 風呂場・シャワー室など水滴のかかる場所では使用しない

火災・感電の原因となります。



### 本機をぬらさない

火災・感電の原因となります。



### 本機の上に水などの液体の入った容器を置かない

本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。本機の上に水などの液体がこぼれたり、液体が中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。



### 本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない

火災の原因となります。



### 表示された電源電圧（交流 100 V、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



### 不安定な場所に置かない








ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、倒れたり落下したりしてけがの原因となります。











### 通風を妨げない

本機の内部に熱がこもり、火災・感電の原因となります。また、次のような使い方をしないでください。

- あお向け、横倒し、逆さまにする
- 押し入れなど、風通しの悪い狭い場所に設置する
- じゅうたんやふとんの上に置く
- テーブルクロスなどをかける

- 
**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**  
 感電の原因となります。
- 
**電源プラグや電源コードを破損しない**  
 電源プラグや電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。破損して、火災・感電の原因となります。また、電源プラグや電源コードの修理は、販売店にご依頼ください。
- 
**電源プラグは根元まで確実に差し込む**  
 差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。また、緩んだコンセントは使用しないでください。
- 
**電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をする**  
 湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、乾いた布で拭いてください。
- 
**カバーを外したり、改造したりしない**  
 本機の内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
- 
**雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない**  
 感電の原因となります。
- 
**小さな部品は幼児の手の届くところに置かない**  
 万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。

## **注意**

- 
**油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない**  
 調理台や加湿器などのそばに置くと、油煙・火災・感電の原因となることがあります。
- 
**直射日光が当たるところなど、温度が異常に高くなる場所に放置しない**  
 火災・感電の原因となることがあります。
- 
**本機を他の機器と接続するときは電源を切る**  
 本機をオーディオ機器、スピーカーなどに接続するときは、それぞれの取扱説明書をよく読み、電源を切ってから接続してください。また、接続するときは指定されたケーブルを使用してください。
- 
**本機の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きさのものを置かない**  
 バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 
**本機の上に乗らない**  
 倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 
**付属の電源コードは本機の専用部品です**  
 付属の電源コードは、本機のみで使用することを目的とした専用部品です。他の機器では使用できません。本機では、付属の電源コード以外、使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、本来の性能が出なかったり、電流量の不足で発熱したりして、火災・感電の原因となることがあります。
- 
**長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜く**  
 通電状態で放置・保管すると、絶縁劣化・漏電などにより、火災・感電の原因となることがあります。
- 
**この機器を使用できるのは日本国内のみです、海外ではご使用になれません**

本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下(通風孔が妨げられていないこと)です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c\_Ja

# もくじ

安全上のご注意.....	2
はじめに .....	5
主な特長 .....	5
お使いになる前に.....	6
付属品の確認 .....	6
各部の名称とはたらき .....	6
設置と接続 .....	8
設置 .....	8
接続.....	9
プリアンプとの接続 .....	9
バイアンプ接続.....	10
スピーカーシステムの接続 .....	11
電源コードの接続.....	12
演奏するには .....	13
電源を入れる前に .....	13
演奏方法 .....	13
保護回路について .....	13
故障かな?と思ったら .....	14
仕様.....	15
保証とアフターサービス .....	16
本機のお手入れ.....	17

## 所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために

「TAD」という名称は“Technical Audio Devices”の頭文字から命名されました。これは、1975年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時 USA プロオーディオ界の第 1 人者であった故バート・ロカンシーの「基本に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、“綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ”の手法を表現したものです。

自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのものなのです。

この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。私達は、当社の持つ最高の技術で皆様へ聴く喜びと感動を提供していきたいと考えています。

## 主な特長

### 対称性 Duallogic-Circuit Technology

スピーカーの振動版を正確にドライブするためにはボイスコイルを流れる正負の電流経路が完全に対称であることが重要です。回路方式のみならず、構造面などあらゆる部分の対称性にこだわり、完全バランスを目指しています。

### 振動制御技術 Vibrate-Absorber Technology

重量のある極厚ベースを下部に配置することで低重心構造とし、更なる振動制御を実現しています。また、電源トランスはピンポイント 4 点支持でシャーシに取り付けるなど内部からの振動制御も行うことで、外部・内部からの振動を制御しています。

### 90 %以上の高効率

90 %以上の D クラス高効率増幅回路を使用することにより、エネルギーのロスを最小限に抑え、低消費電力を実現しています。

### 大容量電源

1 kVA の強力電源トランスを 2 基搭載。応答性能に優れ、スピーカーを正確にドライブします。

### 定格出力 500 W / 4 Ω の駆動力

低損失と高速性能を兼ね備えたリードレスパワー FET 出力段はシンプルなシングル出力で、500 W/4 Ω の 2ch 出力を無理なく実現しています。

### ISO マウントテクノロジー

TAD-M1000 はリファレンスシリーズを踏襲するスパイク構造のインシュレーターを採用しました。

これにより更なる振動制御を実現しています。

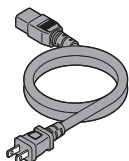
圧倒的な解像度による高次元での音像と音場の融合を体感ください。

# お使いになる前に

## 付属品の確認

アクセサリボックスの中に、以下のものが入っていることを確認してください。

- 電源コード× 1

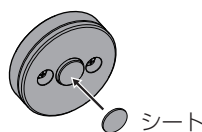


- 取扱説明書（本書）
- シート× 3  
（本シートはインシュレーターによる床などへの傷付け防止用です。必要に応じてお使いください。）



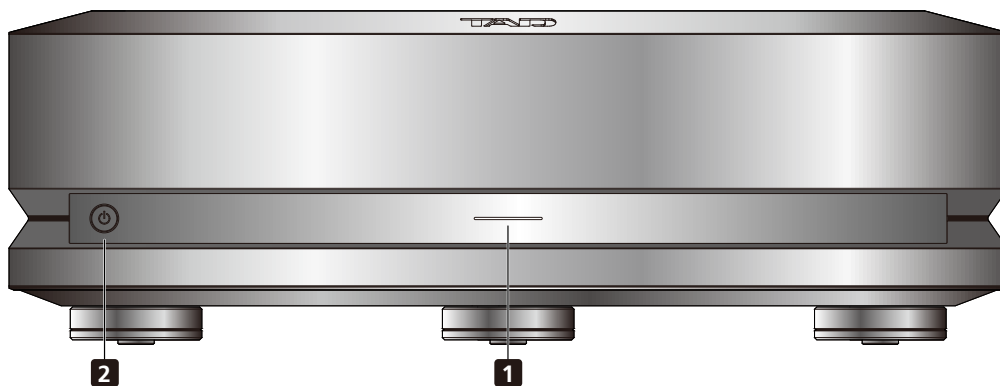
- オーナーズクラブ登録カード× 1
- 個人情報保護シール× 1
- 保証書× 1

シートの使用例



## 各部の名称とはたらき

### 前面部



#### 1 電源インジケーター

電源 (POWER) の状態を示します。

黄色点灯：動作可能状態

赤色点灯：スタンバイ

黄色点滅：起動処理中

赤色点滅：異常状態

電源インジケーターが黄色の点灯から赤色の点滅に変わった時は、保護回路が働いていますので、電源プラグを抜いてください。詳しくは「保護回路について (13 ページ)」をお読みください。それでも原因が分からないときは、バイオアカスタマーサポートセンター TAD 相談窓口にご連絡ください。

#### 2 電源スイッチ

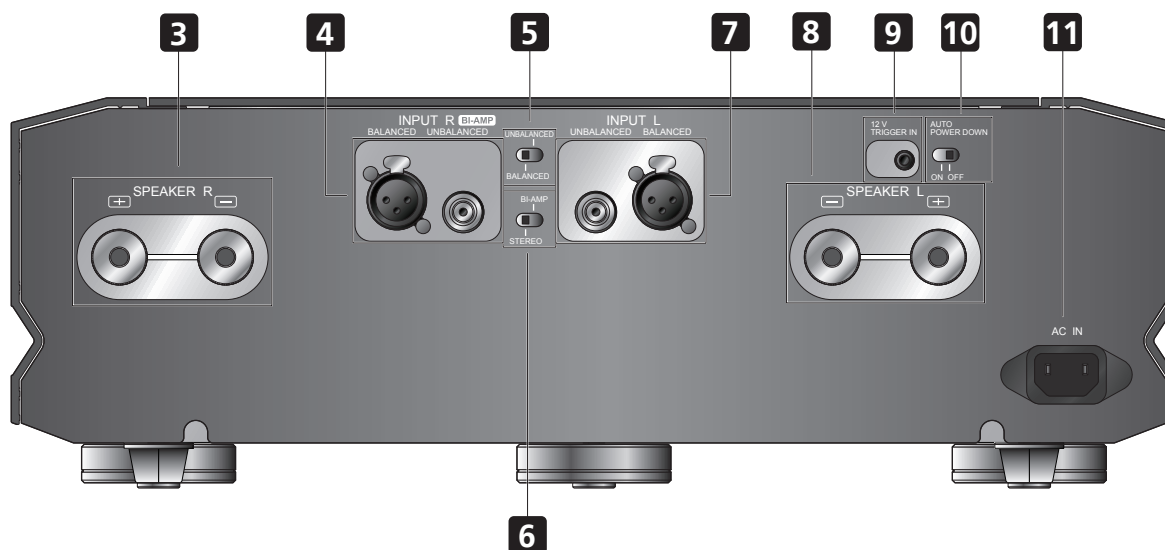
電源 (POWER) のオン / オフを行います。

### ⚠ 注意

電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。本機を電源コンセント近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くようにしてください。

## 各部の名称とはたらき

### 背面部



#### 3 SPEAKER R 端子

スピーカーインピーダンス 4 Ω ~ 16 Ω のスピーカーを使用できます。

#### 4 入力 R (BALANCED/UNBALANCED) 端子

プリアンプと接続します。

#### 5 バランス / アンバランス入力端子切替スイッチ

入力端子を接続するプリアンプの出力端子のタイプに合わせて、バランス (XLR-3-31) かアンバランス (RCA ピンジャック) かを選択できます。

#### 6 バイアンプ設定スイッチ

2 台のパワーアンプを使用して、バイアンプ接続をすることができます。

#### 7 入力 L (BALANCED/UNBALANCED) 端子

プリアンプと接続します。

#### 8 SPEAKER L 端子

スピーカーインピーダンス 4 Ω ~ 16 Ω のスピーカーを使用できます。

#### 9 12V トリガー入力端子

外部機器から電源 (POWER) のオン / スタンバイをすることができます。

入力端子: φ 3.5 モノラルミニジャック

動作仕様: スタンバイ中に入力される信号の電圧レベルが L から H になった場合 ..... 電源オン  
電源オン中に入力される信号の電圧レベルが H から L になった場合 ..... スタンバイ

12V トリガー入力に H が入力されている時は、本体の電源スイッチで電源オフができません。

#### 10 オートパワーダウン設定スイッチ

ON に設定すると、約 3 時間で自動的にスタンバイ状態になります。

OFF に設定すると、この機能は無効になります。

#### 11 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

本機に表示の記号は以下を示しています

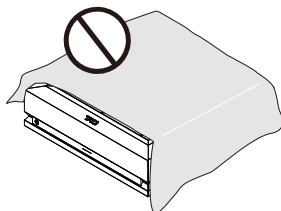
- クラス機器 (二重絶縁構造)
- ~ 交流 (AC)

# 設置と接続

## 設置

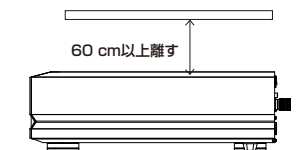
### ⚠ 警告

- 本機は重量がありますので、持ち運びや開梱、取り付け作業は必ず2人以上で行ってください。
- 設置する場所はこの重量に十分耐えられる強度を持つ、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れたりして、事故の原因になります。弊社では、床に設置することをお勧めします。棚などの上に置く場合は、必ず強度の確認を行ってください。
- 放熱のため、本機の上に物を置いたり、布やシートなどをかぶせた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。
- 本製品の設置は3本の大きな足で行っております。またそのほかに補足的に2つの小さな足があります。この補助足は急激な加重がかかった際に、製品が直接床にぶつかることを防ぐ役割をして、通常は床には接しておりません。



### ⚠ 注意

本機を設置する場合は、放熱をよくするために、本機の天面から60 cm以上、背面から10 cm以上、側面から30 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。



### ⚠ 注意

- 本機は発熱量が多いので、じゅうたんやクッションなど、冷却用の空気の流れを妨げる柔らかな物の上に置いたり、狭い場所には置かないでください。
- 本機のインシュレーター内部はラウンドタイプのスパイク構造になっています。インシュレーターの機能を十分に発揮させるため、インシュレーター下部中央の突起部分は固定されておらず、多少動く構造になっています。固定されていない状態が正常で、故障ではございませんのでご注意ください。

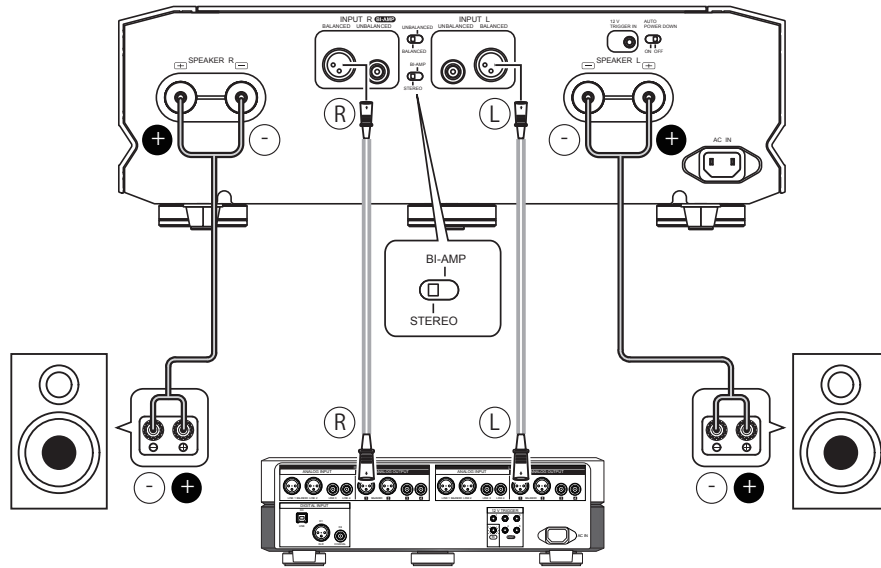


## 接続

### ⚠ 注意

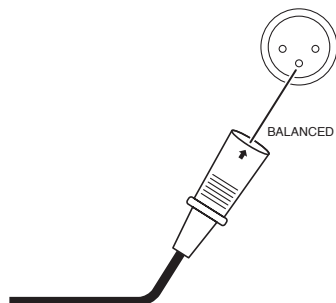
- 本機および各コンポーネントの電源スイッチは、接続がすべて終わるまでオンにしないでください。
- バイアンプ設定スイッチはステレオにしてください。

スピーカーは接続の前に配置しておくことをお勧めします。接続には市販のスピーカーコードをご使用ください。機器の接続を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

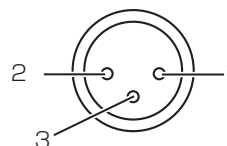


### プリアンプとの接続

市販のバランス型 XLR プラグ付きケーブルを使用して、本機のバランス入力端子とプリアンプのバランス出力端子を接続します。アンバランス（RCA 端子）で接続する場合は、バランス / アンバランス入力端子切替スイッチをアンバランスにしてください。



バランス入力端子(XLR-3-31 相当)



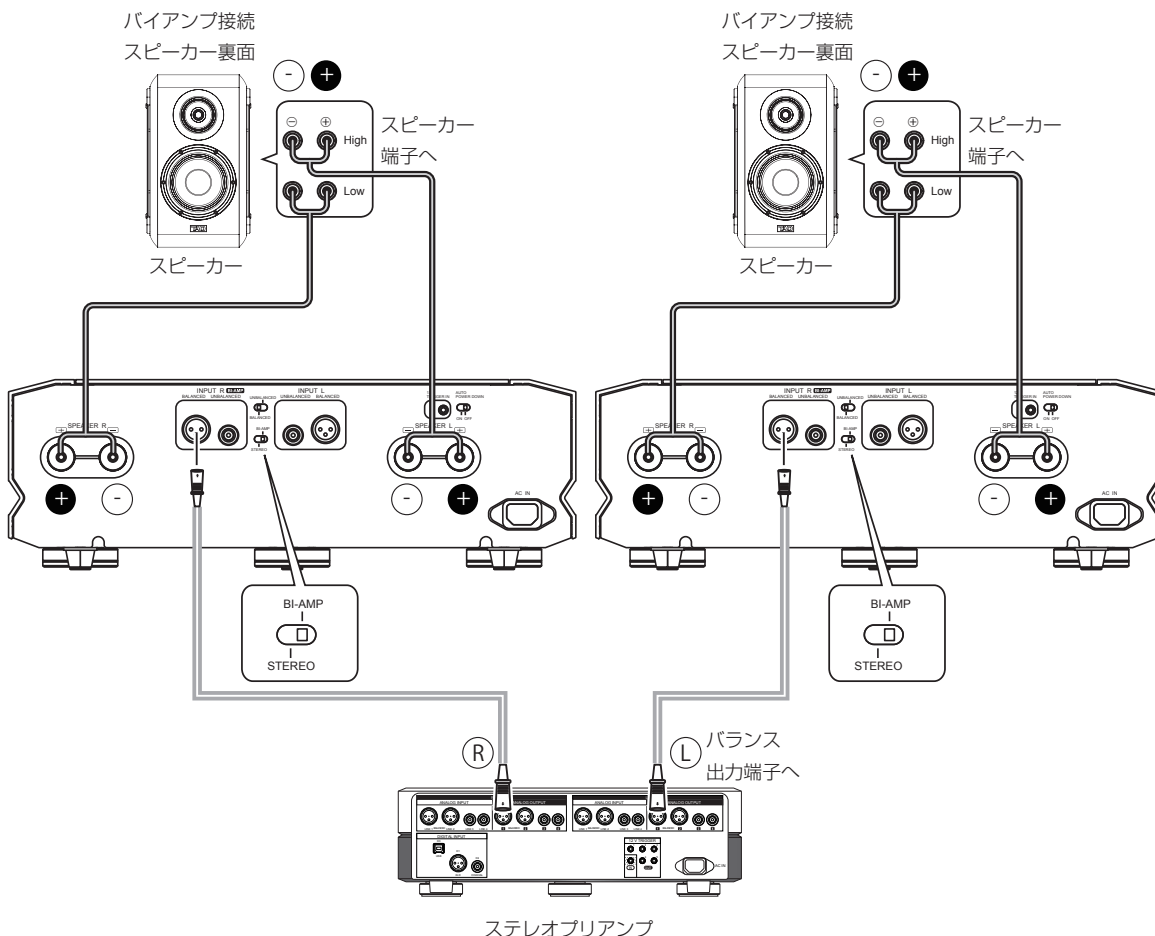
- 1 : アース
- 2 : ホット
- 3 : コールド

### ✎ メモ

入力端子とスピーカー端子に接続するケーブル長は 3 m 以下をお勧めします。

## バイアンプ接続

【バイアンプ接続端子付スピーカーシステムを使った接続例】



バイアンプ接続は、2組のアンプとスピーカーコードを使って、スピーカーの低音用入力端子(Low) および高音用入力端子(High)に接続する方法です。

バイアンプ接続には、2台のTAD-M1000が必要になります。

- 本機および各コンポーネントの電源スイッチは、接続およびスイッチの切り換えが終わるまで、オンにしないでください。
- 接続するときは、バイアンプ対応スピーカーを接続してください。また、バイアンプ設定スイッチをバイアンプにしてください。
- 各スピーカーのHighとLowは、それぞれのパワーアンプのスピーカー端子の組（SPEAKER L 端子およびSPEAKER R 端子）に接続してください。

### ⚠ 注意

- 入力信号は2台とも入力 R 端子に接続します。バイアンプ設定時は入力 L 端子からの信号はスピーカーに出力されません。

### ✍ メモ

SPEAKER L および R 端子からは同じ信号が出力されていますので、High、Low はどちらにでも接続できます。

### ⚠ 注意

- スピーカーのバイアンプ接続をするときは、アンプへの悪影響を防ぐため、スピーカーに付属されている High-Low のショート金具は必ず外してください。詳しくは、スピーカーの取扱説明書もご覧ください。

## スピーカーシステムの接続

### ⚠ 注意

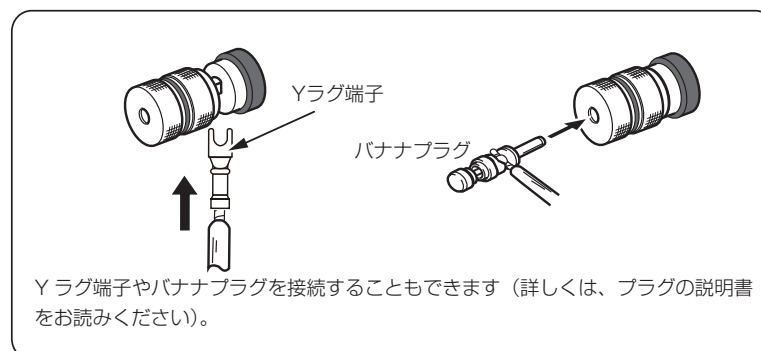
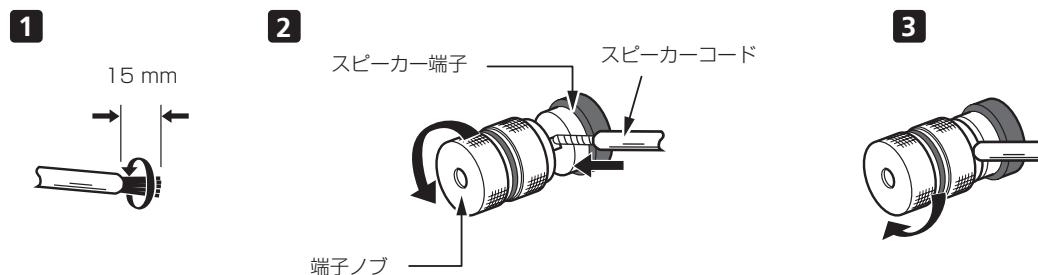
- スピーカー端子には、マイナス端子（-）とプラス端子（+）の極性があります。接続時には、本機のスピーカー端子とこれらの極性を必ず合わせて接続してください。
- インピーダンスが 4 Ω～16 Ωのスピーカーをご使用ください。
- スピーカーコードは、電流容量の大きなものを使い、緩みやショートのないように確実に接続してください。電流容量の小さな接続コードを使ったり、接続が不完全な場合には、再生音に影響を与えたり、発熱やショートの原因となりますのでご注意ください。
- スピーカーコードを接続するときは、芯線をしっかりねじり、スピーカー端子からはみ出していないことを確認してください。芯線がリアパネルに接触したり、芯線どうしが接触すると、保護回路が働いて電源がオフになることがあります。
- スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、必ず電源コードを抜いてからスピーカーの接続を行ってください。

### スピーカーシステムのつなぎかた

スピーカー端子のプラス端子（+）と本機のスピーカープラス端子（+）を接続します。  
 スピーカー端子のマイナス端子（-）と本機のスピーカーマイナス端子（-）を接続します。

### スピーカーコードの接続方法

1. スピーカーコードの外側の被覆を約 15 mm 取り除いてから、中の線をねじり束ねる。
2. スピーカー端子ノブを左側（↺）に回して、緩める。  
端子ノブがスライドし、すきまが開きます。
3. 開いたすきまにスピーカーコードの先端を差し込み、端子ノブを右側（↻）へ回して締めつける。



## 電源コードの接続

すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100 V）に接続します。

本機の電源コードは極性管理されています。音質向上のため、極性を合わせることをお勧めします。下図のように電源プラグのNマークのある側を電源コンセントの幅の広い方（アース側）に合わせて差し込んでください。

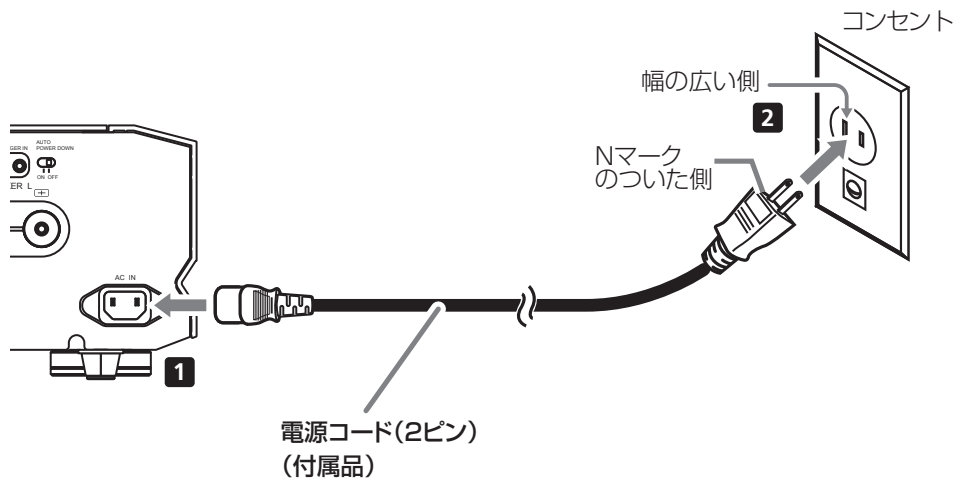


- 本機の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード（電流容量 15 A、本機側 2P プラグインソケット方式）以外の電源コードはご使用にならないでください。

- 電源プラグをコンセントに接続すると、電源インジケータが赤色で点灯します。電源スイッチをオンすると本機の電源が入ります。この際、8 秒間のミュートを行いインジケータが黄色に点滅します。黄色の点灯が変わると、本機の演奏準備が完了です。
- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 電源プラグを抜くときは必ず本機の電源スイッチをオフにしてからプラグを抜いてください。

## 電源コードの接続方法

1. 付属の電源コードを本機の AC IN 端子に接続する。
2. 壁のコンセント（AC 100 V）に接続する。



## ⚠ 注意

- 本機は消費電力が大きいので、十分な容量のある電源コンセントに接続してください。（容量の小さな電源コンセントに接続すると接続部が発熱する危険性があります。）

## 電源を入れる前に

入力端子、出力端子が確実に接続されていることを確認してください。

## 演奏方法

1. プリアンプの音量調整 (VOLUME) つまみを最小の位置にする。
2. プリアンプの電源スイッチをオンにする。
3. 本機の電源スイッチをオンにする。  
黄色の電源インジケータが約 8 秒間点滅したあと、連続点灯になると本機は動作可能になります。  
プリアンプの音量調整 (VOLUME) つまみで、音量を調整します。
4. 演奏を終えるときは、プリアンプの音量調整 (VOLUME) つまみを最小にし、プリアンプと本機の電源スイッチをオフにする。

## 保護回路について

本機には、アンプやスピーカーの損傷を防ぐため、(自動)保護回路が内蔵されています。保護回路が働いている間は、電源インジケータが点滅し、スピーカーからは音が出ません。保護回路が働くのは、次の場合となります。

- 電源投入 (オン) 時

起動時の雑音を消すため、ミュート回路が働き、8 秒間、インジケータが黄色に点滅します。

- 異常発生時

スピーカー端子のショートや過負荷、異常発熱などがあった場合、インジケータが赤色に点滅し、保護回路が働きます。保護回路は、リセット型です。異常発生により、保護回路が働いた場合は、その原因を取り除いてから、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。



### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下を調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外が原因の場合も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。

以下の項目を調べても症状が直らない場合は、修理をご依頼ください。

症 状	原因と思われること	処 置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグが電源コンセントから外れている。</li> <li>● 本機の AC INLET から電源コードが外れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コンセントにプラグをしっかりと接続する。</li> <li>● AC INLET に電源コードをしっかりと接続する。</li> </ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーカーコードが端子から外れているか正しく接続されていない。</li> <li>● 端子またはスピーカーコードのプラグが汚れている。</li> <li>● 電源インジケータが赤色に点滅している。</li> <li>● バランス接続なのに、バランス / アンバランス入力端子切換スイッチがアンバランスになっている。</li> <li>● アンバランス接続なのに、バランス / アンバランス入力端子切換スイッチがバランスになっている。</li> <li>● オートパワーダウン設定スイッチが ON になっていて再生の途中で電源が切れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーカーコードをしっかりと接続する。</li> <li>● プラグと端子を清掃する。</li> <li>● 「保護回路について (13 ページ)」を参照して原因を取り除く。</li> <li>● バランス / アンバランス入力端子切換スイッチをバランスにする。</li> <li>● バランス / アンバランス入力端子切換スイッチをアンバランスにする。</li> <li>● オートパワーダウン機能が不要な場合は設定を OFF にする。</li> </ul>
両方のチャンネルから同じ音が出ている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ステレオ接続なのに、バイアンプ設定スイッチがバイアンプになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バイアンプ設定スイッチをステレオにする。</li> </ul>

## ■アンプ部

定格出力 .....	500 W (JEITA、2チャンネル同時駆動、20 Hz ~ 20 kHz、T.H.D. 1.0 %、4 Ω)
定格歪率 .....	0.05 %以下(20 Hz ~ 20 kHz、250 W、4 Ω)
SN比(入力ショート、Aネットワーク).....	112 dB以上
周波数特性 .....	5 Hz ~ 50 kHz、-3 dB
利得 (Balance).....	29.5 dB
入力端子(感度 / インピーダンス).....	1.5 V/220 kΩ(Balance) 0.75 V/47 kΩ(Unbalance)

## ■電源部・その他

電源電圧 .....	AC100 V、50 Hz /60 Hz
消費電力 .....	250 W
待機時消費電力.....	0.5 W以下
外形寸法(幅 × 高さ × 奥行) .....	440 mm × 148 mm × 479 mm
質量 .....	29 kg

## ■付属品

電源コード .....	1
オーナーズクラブ登録カード .....	1
個人情報保護シール.....	1
保証書 .....	1
シート .....	3
取扱説明書(本書)	

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス

## 保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、パイオニア修理受付センターにご相談ください。

## 修理を依頼される時

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな?と思ったら」(14 ページ)の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用中を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

## 連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：パワーアンプ
- 型番：TAD-M1000-K, TAD-M1000-S
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく具体的に）：
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など付近の目印）：

### ■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

### ■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

S26\_Ja

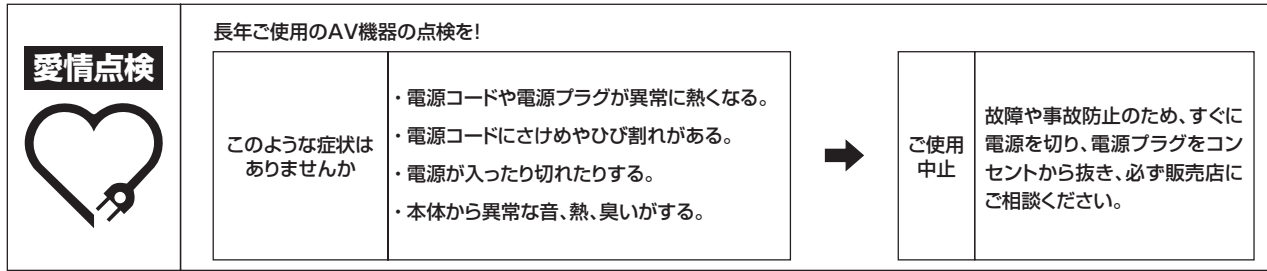


本機を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください

- ⊘ ・ 直射日光のあたる所。
- ・ 湿気の多い所や風通しの悪い所。
- ・ 極端に暑い所や寒い所。
- ・ 振動のある所。
- ・ ホコリやタバコの煙の多い所。
- ・ 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）。

## 本機のお手入れ

本機の清掃は、お手持ちのポリシングクロスでから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを本機の近くでは使用しないでください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。





〈各窓口へお問い合わせ時のご注意〉

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからはご使用になれません。ナビダイヤルは携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。また、一部のIP電話などからはご使用になれません。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

**商品についてのご相談窓口**

TAD商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

- 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

**パイオニアカスタマーサポートセンター TAD相談窓口**

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00, 13:00～18:00  
(土曜・日曜・祝日・パイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く)

【固定電話からのご利用は】 0120-995-823 (無料)

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

**修理についてのご相談窓口**

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

- お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

**パイオニア修理受付窓口**

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00  
(土曜・日曜・祝日・パイオニア修理受付窓口休業日は除く)

【固定電話からのご利用は】 0120-5-81028 (無料)

【携帯電話・PHSからのご利用は】 0570-037-610 (ナビダイヤル 有料)

【ファックス】 0120-5-81029 (無料)

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

**部品のご購入についてのご相談窓口**

- 部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

**パイオニア部品受注センター**

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00  
(土曜・日曜・祝日・パイオニア部品受注センター休業日は除く)

【固定電話からのご利用は】 0120-5-81095 (無料)

【携帯電話・PHSからのご利用は】 0570-057-140 (ナビダイヤル 有料)

【ファックス】 0120-5-81096 (無料)

**インターネットホームページ**

<http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/>

※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

**インターネットホームページ**

本書以外に下記ホームページもご覧ください。

<http://tad-labs.com/jp/support/index.html>

# TAD

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

© 2018 株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ  
禁無断転載

JIS C 61000-3-2適合品 D50-5-10-1\_A\_Ja

**株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ**  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-15-3  
<http://tad-labs.com>